

令和4年度第1回「防府市農林業政策懇話会」 議事録等

■開催日時・場所

令和4年10月31日（月）午前10時から午前11時50分まで
防府市創業・交流センター 多目的ホール（デザインプラザHOFU）

■次第

- 1 主要事業等に関する情報提供
 - (1) 「防府市農林業政策懇話会」での意見等について
 - (2) 第5次防府市総合計画 重点プロジェクトの進捗状況 農林業分野について
- 2 防府市の農林業を活性化する提案等について

■配布資料

	資料名	番号
1	防府市農林業政策懇話会での意見及び提案等一覧	【資料1】
2	第5次防府市総合計画 重点プロジェクト 農林業分野について	【資料2】
3	「農林業の知と技の拠点」施設整備について	【資料3】
4	農道牟礼小野線整備事業の進捗状況について	【資料4】
5	原油価格・物価高騰への支援一覧	【資料5】

■委員等出席者名簿

敬称略・順不同

種別	氏名	所属／品目	出欠
会長	池田 豊	市長	出席
農林業関係団体	石丸 和美	山口県農業協同組合防府とくぢ統括本部長	出席
	戸田岸 巖	山口県中央森林組合 組合長	出席
	藤井 伸昌	防府市農業委員会 会長	出席
	原田 慎司	山口県農協青壮年部	欠席
流通関係団体	吉武 健志	(株)ユアーズバリュー代表取締役社長	出席
	荒瀬 正則	防府市野菜出荷組合 組合長	出席
農業関係者	岡本 拓実	(株)ファーム大道 代表取締役社長	出席
	矢部 洋子	施設野菜	出席
	吉次 英哲	果樹	出席
	柳 俊則	花き	欠席
	池田 英雄	畜産	出席
消費者	阿部 幹恵	防府市生活改善実行グループ連絡協議会 会長	出席
公募委員	中山 博祐		欠席
	蓑島 啓子		出席

■会議録（暫定版）

1 主要事業等に関する情報提供

- (1) 「防府市農林業政策懇話会」での意見等について
- (2) 第5次防府市総合計画 重点プロジェクト 農林業分野について
 - ・事務局から資料にて説明

2 各委員による意見

- | | |
|-----|---|
| 会長 | 忌憚のない御意見をいただきたい。 |
| A委員 | 市には、危機感を持った方がよいと伝えてきたが、無関心である。
農林業の知と技の拠点が来る防府市の農家のメリットはなにか。 |
| B委員 | 土地利用学科ができ、近くにできるので、卒業生が就業・就農できれば良い。JAも関係機関と協力しながら農業を支えていかななくてはならない。 |
| A委員 | 天神みかん（防府のブランドの作物）を作っている農家が6名いるが、90歳が一番上で、私の次に若い方は、75歳である。これから新規就農の希望があったとしても、農大研修、現地研修を考えると最低2年かかる。
玉ねぎに力を入れると聞いているが、作付面積と生産者数を教えてほしい。 |
| B委員 | 玉ねぎについて、令和元年は作付面積615a、生産者34名。令和2年は作付面積463a、生産者30名。令和3年度は作付面積391a、生産者22名。令和4年度は355a、生産者24である。来年は20a増える予定。
天神みかんについて、生産者は7名である。昨年の出荷量は4トンで贈答用は1トン。販売先も百貨店に売り込みをかけているが、需要に見合う生産量が必要である。 |
| 会長 | 農林業の知と技の拠点が来ることによって、担い手の確保も地元を活かせる。 |
| A委員 | 新規就農者は葉物で就農したいと言う。理由は、葉物で就農する場合のわかりやすい資料がある。以前、柑橘でも作ったらどうかと提案した。玉ねぎやみかんに力を入れるなら、目に見てわかるものがあつた方がよい。
また、農業アルバイトを検討してほしい。 |
| 会長 | 様々な意見をいただいた。これから役立たせていただく。 |
| A委員 | 提案だが、柑橘の品評会を復活してほしい。また、天神みかんを買って、防府読売マラソンの1, 2, 3位にプレゼントしてほしい。 |

- 会長 | 天神みかんにネームバリューがないという話だったが、ないならこれからよくなる可能性が十分あるということ。しっかりPRしていきたい。
品評会はできるものならしっかりやっていかなければならない。
- C委員 | 農林業の知と技の拠点のメリット・デメリットについて考える時期ではなく、どう活かしていくかを考えていくべき。
前回、農機具レンタルの話が出ていたが、機械のレンタル料は安くしてほしい。また、機械の使い手も一つの職業として、使い手を探したらどうか。
- 会長 | 農林業の知と技の拠点については、そのメリットを最大限に活かし、担い手不足の問題に取り組み、防府の農業に活かしていきたい。
機械については買うことが目的ではなく活かすということと一緒に考えていきたい。
- D委員 | 電力会社から11月から電気代が値上がりする旨の予告が来た。他に食品、トレーや人件費の改定がある。そういった中で利益をどうとっていくかが難しい。
農業者の高齢化、担い手の対策をしないと5年後10年後はないと思うので、根本改革を早いうちに進めていく必要がある。われわれも共に考えていきたい。
- E委員 | 配合飼料対策が打ち出されているが、圧ペンとうもろこしなど乳成分の水準に必要な飼料は対象外である。粗飼料も補助対象になったが、全く足りない。このところの円安は個人の方ではどうしようもない。
畜産はやめるのは簡単だが、始めるのは難しい。防府酪農組合は手数料を引き下げるなど、酪農家を守る姿勢を見せている。市から何らかの支援があれば励みになるので、再検討してほしい。
近くに新たにできる太陽光発電のパネル下の除草について、除草剤をまくと聞いた。近くでつくっている作物に影響があるので、除草シートを敷くようお願いしたところ、除草シートを敷くことになった。何らかの規制はできないか。
- 会長 | 飼料の問題については、短期的、長期的に考える必要がある。
太陽光発電については、戻って担当に伝える。
牛乳は絶対に必要なものと考えている。地元の牛乳は地元で飲んでほしいと思っている。
- F委員 | 玉ねぎについては、昨年機械を導入した。玉ねぎは苗を作るのが大変で、現在農林事務所と一緒に安定した苗が作れるように実験中。今後玉ねぎを増やしていければと思っている。

会長 | しっかりとお願いしたい。

G委員 | 一昨年の政策懇話会で販路が広がらないと発言したところ、小学校給食に出せるようになった。また、アルクやイオン、JAの協力も得て販路が広がった。ただ、数字を見ていくと売り上げはそんなに上がっていない。大口の注文は、九州の産地の大きいところに負ける。土地を広げるにしても耕作しやすく整形されていないのでなかなか難しい。

そこで提案だが、国道2号線以北ではほ場整備を一気に進めてほしい。大道の成功例もある。奈美地域のほ場整備を進めていることは知っているが、鈴屋もほ場整備を進めてほしい。農地として整備すれば、働く場所になる。小野地域の農地を防府の食糧庫にしてほしいと思っている。

会長 | 地元の意見集約ができれば、ほ場整備をしていきたい。

H委員 | 農業をする人材、アルバイトを募集するアグポンのCMを見たが、よくわからない。防府市には高校や大学があるが、農業に関わることがない。農業のアルバイトの情報が乏しいし、高校・大学の農業バイトの場所があればいいと思っている。

※狩猟関係、6次産業、農業関係の後継者について質問あり。質問回答については、最終ページに記載。

会長 | 整理して後日答える。

I委員 | 先日テレビで、竹林ボランティア山口が取り上げられていた。
竹の繊維を織り込んだマスクを作って、ブランド化して売ってほしい。

会長 | 竹をうまく使えば、いい財産になると思う。

J委員 | 先ほど、太陽光の管理について話があったが、現在太陽光発電を取り締まる法律はない。農業委員会からは設置者に対して、維持管理、草刈りや水路掃除をお願いしているが、あくまで土地の管理者の努力義務に留まる。

集落営農法人などのほ場整備は進めなければならないと思っているが、ほ場整備が出来なくても頑張っている小規模農家の土地をなんとかしたいと思っている。2,3年前に規模加算奨励金が廃止されたが復活してほしい。耕作放棄地の解消につながると思う。

会長 | 規模拡大を促進できる施策を検討している。

K委員 | 2050年のカーボンニュートラルに向けて、森林の果たす役割が大きい。「切って」「植えて」「使って」ということで防府市においては、積み木を幼児に配っている。林業が循

環していくので、ぜひ公共施設に木材、国産材を使ってほしい。

会長 | 先日、大平山の方で木を切っていただいて、来年製材になるので公共施設にベンチを作って置きたい。防府市の木を使って子どもたちに、また市民の皆さんに木の良さを味わってもらいたい。

A委員 | 議事録には、天神みかんではなく防府のブランドの作物と表記した方が伝わりやすい。危機感がないので、職員は農業体験し、どういったことで農家が困っているのを実感してもらえれば、政策に吸い上げができ、防府の農業の発展につながるのではないかな。

会長 | ブランドをしっかりとPRしてほしい、農業をしっかりとしてほしい、ということだと思ふ。しっかり受け止めさせてもらおう。

C委員 | J Aが県内で一つに統合され、いろんな地域で農事組合法人ができている。法人化で機械のコストが下がる。農業機械を農業公社に貸し出してもらえばいいと思っている。

会長 | せっかく防府市に農業公社があるので、活用していきたいと考えている。集落営農法人のサポートや耕作放棄地対策において農業公社を活用できないか考えている。

G委員 | アグポンは続けてほしい。J Aで面接してもらえるのは助かるので使っていきたい。新規就農者の質を向上してほしいので、新規就農者の様子をよく見てほしい。

会長 | 新規就農者については、農林事務所と市でしっかりしていきたい。

閉会

＜H委員の質問に対する回答＞

【質問1】今年の狩猟関係者の人数、年齢の幅、有害鳥獣の被害状況、今年の免許人数を知りたい。

(回答)・猟友会会員は、59名

- ・会員の年齢構成は、20歳から39歳まで7名、40歳から59歳まで16名、60歳から79歳まで25名、80歳以上は11名
- ・令和3年度の有害鳥獣の被害は、1,563千円
- ・今年の県内の狩猟免許取得者数は、わな猟免許212名、第1種銃猟免許52名、第2種銃猟免許5名、あみ猟免許1名

【質問2】農大でジビエについて、消費施設を作る予定があるのか？

(回答)有害鳥獣の処理施設はありませんが、農林業の知と技の拠点内の連携・交流館においてジビエの調理はできます。

【質問3】防府に6次産業をする場所をつくってほしい。防府に6次産業化をしている会社があるのか？これからやろうと考えている方がいるか？

(回答)・農林業の知と技の拠点の連携・交流館内に6次産業化新商品開発等に利用可能な「食品加工オープンラボ」が整備されます。ただし、当該施設において試作はできますが、作ったものを販売するはできません。

- ・国の「6次産業化・地産地消法」に基づく認定事業者は1件、県の「やまぐち6次産業化・農商工連携推進事業」に基づく認定事業者は5件あります。
- ・これから6次産業化を考えている方の相談は今のところありません。

【質問4】防府市の農業関係の後継者がどれだけいるか？

(回答) 農業者にアンケートを実施した結果をもとにお答えします。(後継者の人数ではなく、耕作面積でお答えします。)

71歳以上の耕作面積は833.4ha、そのうち後継者の決まっている耕作面積は569.6haです。71歳以上の農業者の耕作面積のうち、後継者が決まっている耕作面積の割合は、68.3%です。